

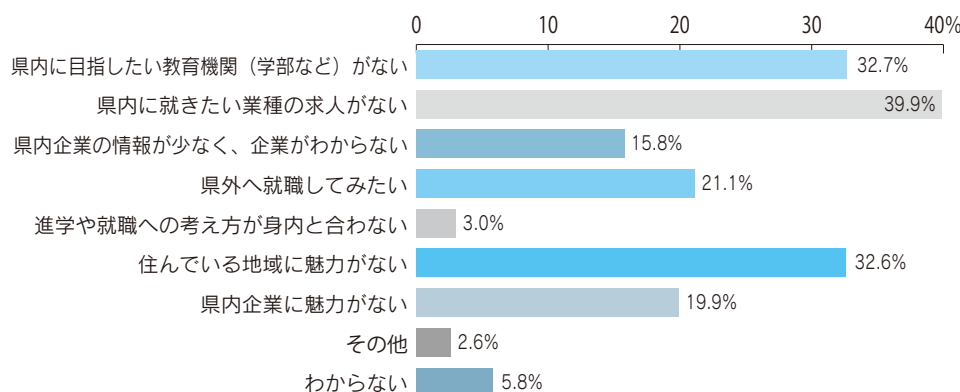
10,272名の声 2018県民意識調査結果 「政策・制度要求と提言」に向け分析中

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、今年2月から4月にご協力をいただいた『県民意識調査』は10,272名の方々から回答をいただきました。

調査結果は8月に実施予定の群馬県への政策・制度要求と提言に活用していきます。

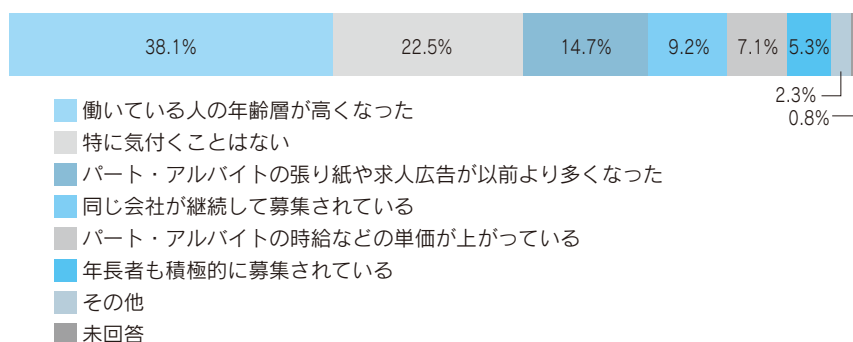


県の人口減の要因として若者の県外流出があげられますが、その理由と思われるものはどれですか。



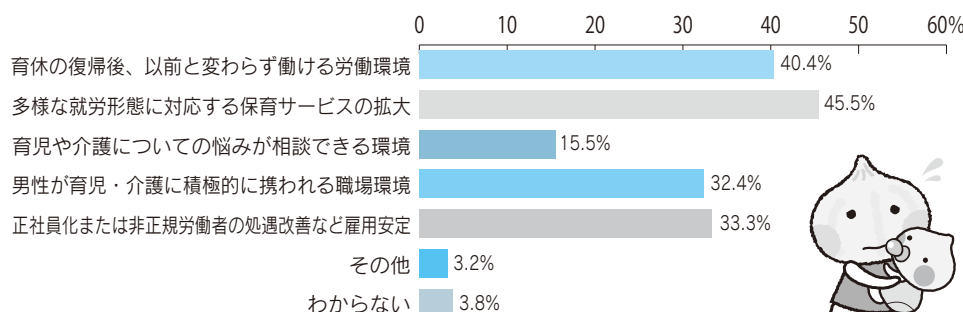
「県内に就きたい業種の求人がない」、「県内に目指したい教育機関（学部など）がない」、「住んでいる地域に魅力がない」の順となっています。若者のニーズと県内の求職状況や教育機関がマッチしていないと考えている方が多いと思われます。

県内の有効求人倍率は1.6倍を超え担い手が不足している状況にあります。あなたの生活の場において、担い手不足に気付くことはどんなことですか。



「働いている人の年齢が高くなった」が約4割、次いで「特に気付くことはない」が約2割の方が回答されています。担い手不足について何かしら感じている方も多い一方、まだ実感していない方も一定いると考えます。

仕事と家庭を両立していくために、有効だと思われる支援策はなんですか。



回答が一つに集中することなく、全般的に回答されていることから、特効薬が存在せず、行政や企業に対して様々な対応を求めているものと考えます。

2018年4月から、有期契約労働者が同じ会社との労働契約（有期雇用）を更新して通算5年を超えた場合、無期契約に変えるよう会社に申し込めるルール（無期転換ルール）が適用になることを知っていますか。

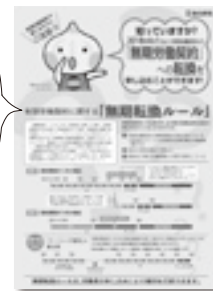
知っている 38.2%

知らない 61.0%

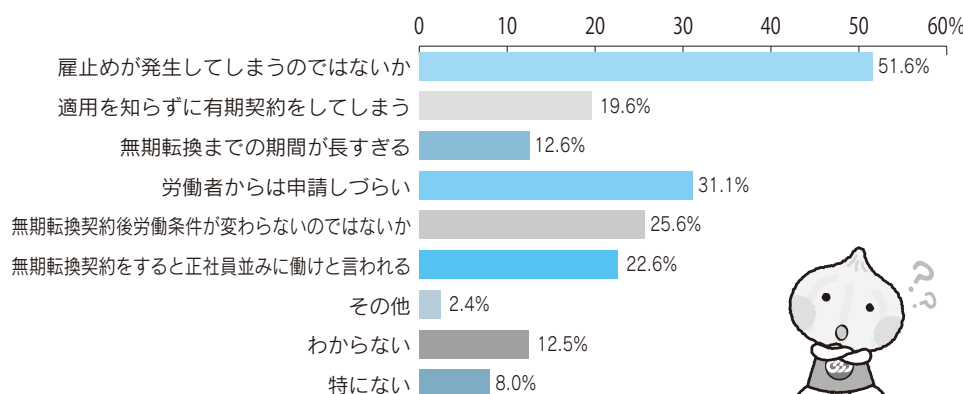
未回答 0.8%

「知っている」が38.2%、「知らない」が61%となっています。すでにルールが適用になっているにもかかわらず、いまだに多くの方が知らない状況となっています。また、当該者である有期雇用の方に限定しても全体と同レベルの回答状況です。

連合では周知チラシ作成しています



無期転換ルールが適用になることで、どんな不安や課題がありますか。



上記の回答で「知っている」とした方に回答をいただきました。順位は「雇止めが発生してしまうのではないかと」、「労働者からは申請しづらい」、「無期転換契約をしたあと、そのほかの労働条件が変わらないのではないかと」となっており、労働者一人ひとりの立場の弱さが顕著に表れていると捉えます。



2018年4月、小学校を皮切りに「道徳」の教科化が始まります。この教科化によって生徒が評価されることとなりますが、これを必要だと思いますか。またその理由を教えてください。

評価は必要だと思う 20.5%

評価は必要ない 43.6%

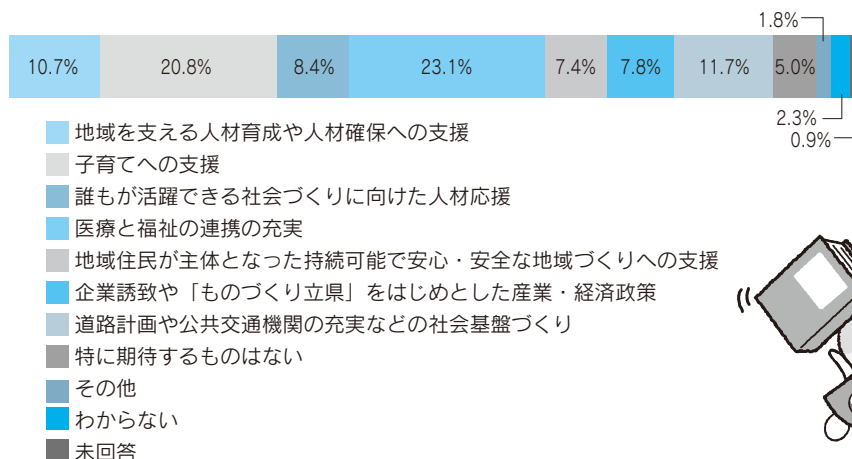
わからない 35.2%

未回答 0.7%

「必要」が20%、「不必要」が40%強となりましたが、「わからない」が35%と相当高い割合を示しました。「必要」と答えた方は、「理解度を確認するため」、「客観的に見るため」を理由とした方が多く、また「必要ない」と答えた方は、「個性を尊重すべき、また制限される」、「人の心は、はかれない」という理由が多く挙げられています。「わからない」と答えられた方では、「評価基準がわからない」、「メリット、デメリットの両方があり判断できない」といった理由が挙げられています。



あなたが行政（県や市町村）に期待していることをお聞かせください。



「医療と福祉の連携の充実」は年代が上がるに連れて、また「子育てへの支援」は30代、40代の子育て世代、「道路計画や公共交通機関の充実などの社会基盤づくり」は、若い世代が多く回答されており、年代によって行政に期待することが変化しています。



※他の項目や年代別・地域別はHP掲載中

特集

学生のうちから「働く」を考える



5月19日(土)に開催された太田東高校「公開みらい学」へ働く先輩として、今年は21名の講師(労働組合の役員または組合員)を派遣しました。

太田東高校「公開みらい学」

キャリア教育の一環。卒業生など含め60名講師

保護者の方も見守りながら進めます

1.2年生がそれぞれの目的で座談会

講師の方の感想と学生の皆さんの「声」をお伝えします。

ミツバ労組 松尾 多佳子さん

生徒の皆さんが熱心でかつ楽しく質問もいただきました。今後の社内のプレゼンテーションにも活かしたい。



仕事の取り組み方、人との付き合い方、今やるべきことを考えて未来に繋げていきたい。社会を経験している方から話を聞ける機会がないので良い勉強になりました。



好きなことを仕事にするのは大切。また、グローバルな時代で異文化の人々の交流もとても大切と分かりました。



無駄になる経験はないと理解できました。少しでも自信につなげるために自分が何ができるかしっかり考えようと思います。



様々な経験は大切で、アルバイトもその一つとわかりました。また、自分が予想した通りの結果が出れば自信につながる。印象に残りました。



サンデン労組 松村 亮之さん

進路をイメージしている人は一握り。こういった授業の重要性は高いですね。



全日通労組 森村 真一さん

聞いたことをしっかりメモする姿勢が1年生からみられました。働くことへの意識づけにとっても良い取り組みと感じました。

部活や習慣など途中で投げ出さずに継続することが重要だと分かりました。また大学選びも広い視野を持った選択が大切だと実感しました。



グローバル化で英語力は必要であること。また、群馬県民は地元を大切にする心が強く地元愛があるという言葉が印象に残りました。



イオンリテールワーカーズユニオン 沼田 美津子さん

AI(人工知能)やロボット・機械化について関心が高く、また、1年生から将来の夢が明確になっている方もいて驚きました。

勉強できる＝仕事できると思ってましたが、経験が大切だと分かりました。



機械化が進んで仕事なくなる心配はありましたが、完全になることはないで自分自身が柔軟に対応できるようになりたい



東京電力労組 島山 洋子さん

学生のころから様々な職種の方から経験を聞くことはとても良い経験です。



いまは目的が大学受験となっています。将来「資格」が活用できる場があると分かったので資格習得にも目を向けていきたい。



任された仕事をしっかりこなせると達成感がありやりがいを感じるという言葉が印象に残りました。



学生さんにも必読！
「働くみんなのスターターBOOK」

講師の皆さんお疲れさまでした。みなさん口々に学生さんの積極的な姿勢に驚いていました。これから「働くこと」「職業の選択」をしていく上で役に立てればいいですね。また、このように「就労感や職業観」につながる取り組みを行う積極的な学校が増えるといいなあ。

連合群馬では引き続き、群馬県教育委員会など関係機関に「労働教育の機会の推進など、外部講師(労働組合役員等)による出前講座受け入れのための授業時間確保など」働きかけを行っていきます。

※学生の皆さんの感想はグループ内の総合的なものです。また一部表現を加筆や修正をして記載しています。

恒久平和を願い ~6.23沖縄 慰霊の日~

6月23日～25日、平和沖縄派遣団を構成組織から12名の参加で実施しました。本部主催の平和集会では、在沖米軍普天間飛行場の辺野古移設問題、米兵による事件が繰り返されている現状など共有する目的で屋良氏より基調講演が行われました。翌日には連合埼玉と共催で、南部戦跡めぐりを実施し、唯一地上戦が行われ、多くの一般住民が犠牲となった地を目で見て、思いとともに巡りました。

連合平和集会（那覇市内）

基調講演 「沖縄基地問題について」

講師 屋良朝博 さん（フリージャーナリスト）

第2部 平和式典（平和メッセージ・平和アピール など）

南部戦跡めぐり＜連合埼玉と共催＞

旧陸軍病院南風原壕群20号

平和祈念公園、資料館見学、群馬之塔への献花・折り鶴献納
ひめゆりの塔・資料館、旧海軍司令部壕見学



平和集会会場で

戦跡の記念碑をめぐる参加者



群馬之塔で千羽鶴を献納



傷兵の治療にあたった病院の遺跡を見学

館林市議会議員選挙 推薦候補予定者

支援区分＝支持



さいとう こういち
斉藤 貢一

（現2・館林地協推薦）

9月16日告示 23日投開票

男女平等参画社会の実現に向け労働局へ要請

連合「男女平等月間」の取り組みとして、6月22日、群馬労働局雇用環境・均等室の千葉室長（写真左）に【「男女平等参画社会」の実現に向けた要請】を実施しました。

働き方改革への取り組みに注目が集まる中、女性活躍の推進や各種ハラスメントへの対応をはじめ、いきいきと働ける就業環境の整備・改善は一層重要な課題となっています。近年では、性的指向・性自認（SOGI）への対応や仕事と不妊治療の両立等、新たな課題も大きく取り上げられています。

このような背景を踏まえ、山村副会長から「男女平等参画社会の実現に向けてこれからも連携を深め課題解決に向けて取り組んでいきたい」と要請にあたり、お互いの認識を共有していくことを提起しました。



募集 青年委員会「ユースのつどい」（仮称）

高めませんか！自分の力で表現する“力”！！
組合員へ仲間へ伝える力を身に付けましょう！！
そして、職場の悩み・好事例など共有しましょう
野外交流で盛り上がりましょう！ 参加お待ちしております。

- 1 日 時：9月22日(土) 13：00～ 23日(日) 10：00
- 2 場 所：安中市 学習の森（群馬県安中市上間仁田）
- 3 対 象：組合員・役員など（概ね35歳までの男女）
- 4 内 容：
 - ①講演 上毛新聞社 NIB担当編集
「自分の言葉で表現する力（仮称）」
 - ②グループディスカッション「伝える力（仮）」
 - ③その他 夕食・野外交流、朝食作り（参加者同士で自炊）
- 5 参加費：1,000円/人

募集 女性委員会「女性活躍推進セミナー」

パーソナルカラーで自分自身にとって似合う色を見つけませんか？女性委員会はだれでも気軽に参加できる取り組みを企画しています。参加お待ちしております。

- 1 日 時：9月22日(土) 13：30～16：00
- 2 場 所：勤労福祉センター3階
第1、第2会議室
- 3 対 象：女性組合員・役員
- 4 内 容：
 - ①パーソナルカラー診断セミナー
マキセンス代表 三木 真紀氏
 - ②グループ討議 組合活動女性活躍推進など
- 5 参加費：無料